

## 第2回やさい畑クラブ実施報告書

開催日:2023年11月19日(日) 19:00~21:00

会場:Zoomによるオンライン会

参加者: 石川(愛知)、島田(横浜)、柳瀬(熊谷)、阿部(桂)(三重)、阿部(雅)(愛知)、  
吉平(愛知)、二宗(愛知)、中村(四国)、富澤(前橋)、荒井(佐野)、小西(さいたま)、  
倉林(平塚)、松原(さいたま)、堤(宇都宮)、森口(四国)、麻生(川越)

合計 16 名

今回は2回目の開催となるが、今回も16名の方が関東から四国までの広範囲から参加していただいた。新たに2名の参加者もあった。

最初30分は参加者の近況報告の時間である。今年は暖かい気温が続いたため、正月用野菜が早くできすぎてそのため値段が下がってプロの人は困っている様子らしい。しかし最近には急に気温が下がってきて、近年の気候変動が大きいことを皆さんは感じている。

参加回答と同時に、聴きたいことや今の畑の様子の写真を事前に送ってくださる熱心な人も出てきた。

また今回参加者で、この時間帯は新幹線に乗車中であり、聞き役に徹するがということでの参加した人もいた。

今回のテーマは「土づくり、残菜処理」であった。

このことについて、自分の実施していることや疑

問点などについての意見交換を行った。

土づくりでは、いかにふかふかした土を作るかというために、落ち葉を拾い集めて堆肥化するか、をコンポストで生ごみを堆肥化して使っているという報告があった。

落ち葉は、道路などに落ちているものを掃除して片付けるという面での地域に貢献しており一石二鳥である。もみ殻やわらなどの有機物をしっかり漉き込むことが重要との力説があり、自然の物をいかに有効活用するかが大切である点を皆さんで納得した。

質問コーナーでは秋冬野菜では気が付くのが遅れると野菜の葉が穴だらけになってしまう。手に負えない時には農薬を使っているが無農薬栽培を実施している人の対応はどうか、との質問があった。

これは次回のテーマの一つとした。

